





《フリースタイル 57kg 級》

新井陸人 2等陸曹は準々決勝から登場しフォール勝ちすると、続く準決勝も5-1で勝ち進んだ。迎えた決勝は弓矢選手（日本体育大学）との対決となった。新井2曹がポイント優勢で試合を進めるなか、相手選手も終盤に粘りを見せたが、4-3の僅差で逃げ切り初優勝を決めると両拳を突き上げた。試合後「全日本（レベルの試合）で優勝するのは初めてなので、素直にうれしい。決勝の相手には前回テクニカルスペリオリティで負けていたので今回は負けたくなかった。競った戦いを勝てたことは自信になる。今回の優勝を機に勢いづけたい」と語った。

《フリースタイル 65kg 級》

秋山拓未陸士長は準々決勝から登場し、8-4で勝利すると、続く準決勝も4-2で勝ち進んだ。迎えた決勝は小川航大 3等陸尉との同門対決となった。終始優勢に試合を進めた秋山士長がポイントを与えず7-0で初優勝を果たした。試合後「初めて全日本（レベル）の大会で優勝できたのでうれしい。小川選手にはいつも練習でやられている。ただ、練習と試合では全然違っていたので、やりづらさは全然なかった。今後は逃げずに前に出る姿勢を強化していきたい。」と語った。



《フリースタイル 125kg 級》

園田平 2等陸曹は準々決勝から登場し、11-3で勝利すると、続く準決勝は14-4のテクニカルスペリオリティで勝ち進んだ。迎えた決勝は山本選手（日大クラブ）との対決となった。終始優位な試合運びで相手を圧倒し10-2で初優勝を決めると左拳を強く握った。試合後「全日本の決勝で勝てない原因を探し、必死にやってきたので本当にうれしい。昨年の全日本選手権で勝てずレスリングをやめようと思ったが家族に引き止められ、続けて本当に良かった。」と涙ながらに語った。

《女子 55kg 級》

村山春菜 3等陸尉は、準々決勝10-0、準決勝11-0と共にテクニカルスペリオリティで勝利し、危なげなく勝ち進み、迎えた決勝は今井佑海 2等陸曹との同門対決となった。均衡した試合展開のなか、後半にポイントを重ね3-0で3度目の優勝を果たし、プレーオフ出場を決めた。プレーオフでは清岡選手（育英大学）と対戦し、2-3で惜敗となったが、今大会の優秀選手賞を受賞した。試合後「天皇杯後から練習を重ね、進歩のある試合ができたと思う。トーナメントは優勝できたので、そこは評価したい。」と語った。



《女子 62kg 級》

稲垣柚香 2等陸曹は準々決勝から登場した。準々決勝1分43秒、準決勝を1分30秒でテクニカルスペリオリティで勝利すると、迎えた決勝は竹元選手（京都府立丹後緑風高等学校）との対決となった。開始直後からポイントを重ね1分23秒でテクニカルスペリオリティで勝利し、今大会1ポイントも与えず圧倒的な強さで初優勝を飾った。試合後「新しい環境で練習させてもらい結果を出したいと思っていたのでホッとしている。ロサンゼルスオリンピックに向けどんなタイプでも自分のレスリングを貫いて、もっと強くなれるように頑張りたい。」と語った。

総合成績（メダリストのみ）

グレコローマンレスリング

- 2位 60kg 河名真偉斗 2等陸曹
- 優勝 67kg 矢部 晴翔 2等陸曹
- 2位 67kg 北條 良真 陸士長
- 優勝 72kg 清水 賢亮 2等陸曹
- 優勝 87kg 鶴田 峻大 3等陸曹

フリースタイルレスリング

- 優勝 57kg 新井 陸人 2等陸曹
- 2位 65kg 小川 航大 3等陸尉
- 優勝 65kg 秋山 拓未 陸士長
- 3位 74kg 佐藤 匡記 2等陸曹
- 2位 79kg 吉田 隆起 3等陸尉
- 3位 92kg 内田 貴斗 1等陸士
- 2位 97kg 伊藤飛未来 2等陸曹
- 優勝 125kg 園田 平 2等陸曹

女子レスリング

- 優勝 55kg 村山 春菜 3等陸尉
- 2位 55kg 今井 佑海 2等陸曹
- 3位 57kg 田村 生吹 2等陸曹
- 3位 59kg 徳原 姫花 陸士長
- 優勝 62kg 稲垣 柚香 2等陸曹
- 2位 72kg 古市 雅子 2等陸尉

獲得数

金：8 銀：7 銅：4